

常任委員会では、平成 30 年度予算について審議を行いました。
なお、執行部に対して各委員会から次のように意見・要望しました。(抜粋)

総務振興委員会

- ①財政調整基金については5億円程度の保有で良いと町長は示された。目的基金への振り替えなど、活用を検討されたい。



- ②災害時における避難所でのペット対応について、マニュアル作成に向け検討を急がれたい。



- ③女性防火クラブについては毎年指摘しているが、原点に戻って勧誘の在り方から見直しされるよう強く望む。



- ④ふるさと納税は、返礼率の変更や返礼品の拡大により増額を見込んでいる。(平成 29 年度 1,000 万円⇒平成 30 年度 3,000 万円) 目標額を上回るよう努力して欲しい。

- ⑤猟友会会員の高齢化による減少などの問題について、人的な被害が出る前に後継者育成など検討されたい。

福祉文教委員会



③子育て環境整備事業について、2月に示された基本計画案の内容が具体性に乏しく、住民説明会など次の段階に進むことは難しいと判断する。町長は委員会において、2つの地点についてそれぞれ設計して比較すると答弁された。しかしその前に事業内容や運営面など、なお協議して詰める必要がある。事業に係る予算を減額修正し、重要事項（事業）について執行部と議会が覚悟を持って短期間の内に徹底的に協議し、事業を進めていきたい。



①体育施設使用料のルールが変更になるが、施設の有効利用と利用しやすさについて、利用者との協議を続けて欲しい。

②遊々こども園の改修工事について、2年間執行することが出来なかったことを反省し、早期に着手できるよう強く指導されたい。



④福祉バスとデマンドタクシー運行について、バス停や運行時間の整合性について研究されたい。また、福祉バス運行委託について、利用者サービスや事務効率を考え、複数年契約を検討されたい。

⑤子どもの福祉医療費対象年齢を18歳までに引き上げる検討をされたい。